

新6ヵ年計画で受注高700億円へ 桧ブランディングを一層推進

日本ハウスHD

の「新未来3ヶ年計画」では収益面で新型コロナウイルスの影響を受けたものの、各施策は着実に進捗した。今回策定した「飛躍的3ヶ年計画」は、アフターコロナ、ウイズコロナに向けた経営計画だ。

は、組織改革、商品改革、革、広告改革、出店、出展計画改革、営業改革と社員生産性改革の5項目。

改單車の「文住宅商品」は日本の「文・檜の家」シリーズが15の外観をそろえた。ミオーダー住宅「匠」の技「クレスステージ15」の提案に力を入れる。広告展開は、15秒テレビCM中心の展開なら、テレビ番組にシント。ト。21年10月からBあ朝日で桧の「プランデー」。

セ家
イ S ノ フ カ テ 一 の こ
月から放映する。
送4回、再放送4回
全8回をBS朝日で

各改革達成により、2年10月期（第59期）の受注高目標として、日本ハウスホールディングス単体で600億円、ホテル事業を担う日本ハウス・ホテル＆リゾート及びその他事業で100億円の、グループ合計700億円を掲げている。

日本ハサスホールディングス（東京都成田和幸会長）は、2022年10月期（第54期）からの新中期経営計画「飛躍6ヶ年計画」を発表した。新計画では5つの改革を重点施策としている。第59期にはグループ受注高700億円達成を目指す。

商品改革は、「環境にやさしい、脱炭素社会の住宅」を継続。高気密・ゼロ・エネルギー使用を柱に、2025年9月に発売した。

が放映されており、
放送12回、再放送12
の全24回を予定して
る。ホテル事業に関
る番組も組まれて
り、同社グループホ
ルの魅力を滞在しな

業を予定している。
営業改革・社員生産性改革は、採用強化と教育訓練による能力強化を進め、社員一人当たりの完成工事高向上を目指す。



フルタニランバー（石川県金沢市、古谷隆明社長）は、ソフウェア企業のアイパブリッシング（同、福島健一郎社長）と連携し、木材業界に特化した販売管理等の業務パッケージシステム、「treeflow（ツリーフロー）」をリリースする。

木材業界特化型の業務システム 持続可能な森づくりと業界DX化に役立てる

はかねて、独自の販
管理システムを運用
2018年にはアイ
ブリッジングが新シ
ステムを開発し、19年
ら本格運用している
同システムが、今回

効ののりのりのスパ・セイ率化で木材利用を促進し、持続可能な森づくりと経営改善につなげることを目的にシステムパッケージを開発していく」と話す。川上から川下までの安定した供給体制構築と、木材業界のDX化に貢献したいと考えだ。

開発元になつたアイパブリッシングは、スマートフォン向けアプリの開発から自治体のオープンデータ化支援まで手掛ける。企業や行政のDX化について、システム構築、運用やコンサルティングなど幅広く展開する。

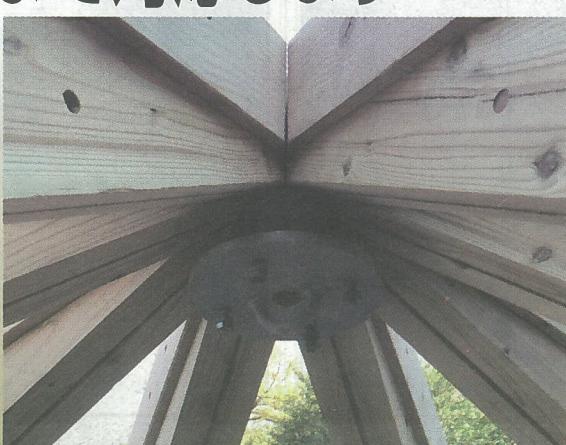
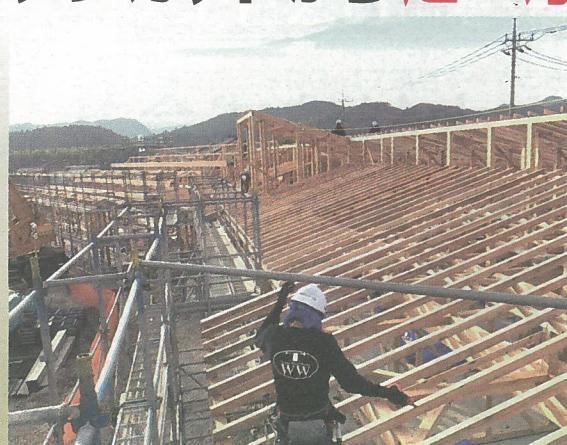
いるため通常の納期に
戻るのは5月までずれ
込むとの見通しを明ら
かにした。

一方、フロアについ
てはこれまで月間52万
～53万坪相当の注文を
受けているが、同社で
対応可能な生産能力は
向45万坪で、4～6月

お引き受けます。
!
0289-72-0108(松山)

**大型木造の建設業務も引き受けます。
ぜひご用命ください!!**

特殊加工チーム連絡窓口 0289-72-0108 (松山)



テクノウッドワークス株式会社 廣沼工業団地内 TEL 0289-72-0108